

児童英語教育のスペシャリストをめざす

～理論と実践に根ざした児童英語教育～

○ 児童英語教員養成課程について

国際化が進む現代、小学校での英語教育も本格化しつつあります。こうした状況を踏まえ、児童英語教員養成課程では、神田外語が長年蓄積してきた英語教育のノウハウを活かし、小学校英語教育に必要な英語力・英語指導力、教育力などを兼ね備えた人材を育成しています。

また修了要件を満たせば、卒業と同時に、「児童英語教員養成課程」修了証が授与されます。

○ 指導体制・授業の履修について

本課程の授業は、言語習得に関わる理論に精通し、豊富な実践経験を持つ大学教員、児童英語教育研究センター（CTEC）の講師によって行われています。また、授業を履修する学生を中心に、CTECでは教材の貸出等の学習支援活動も実施しています。

○ 指導の特徴について ※裏面もご覧ください

本課程で行われる授業には、以下の特徴があります。

- ① 理論を踏まえた後で、実践について学びます。
- ② 理論科目では、討論からより深く問題を考察します。
- ③ 実践科目では、ワークショップや模擬授業を通じて指導技術を学びます。
- ④ 教育実習システムが充実しています（船橋市内小学校での教育実習や海外実習、沖縄実習等）。

○ 小学校の教員免許取得について

小学校の教員免許取得を希望する学生は、千葉経済大学短期大学部で科目等履修生として学ぶことにより、小学校二種免許取得に必要な単位を取得することができます。

神田外語 児童英語教員養成課程

Kanda University of International Studies
Program for Teaching English to Children

～児童英語教育のスペシャリストをめざす～



神田外語大学

児童英語教育研究センター（CTEC）

Kanda University of International Studies

Center for Teaching English to Children

TEL: 043-273-1579

FAX: 043-273-1726

E-mail: ctec-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp

URL: <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/ctec/>



大学 HP

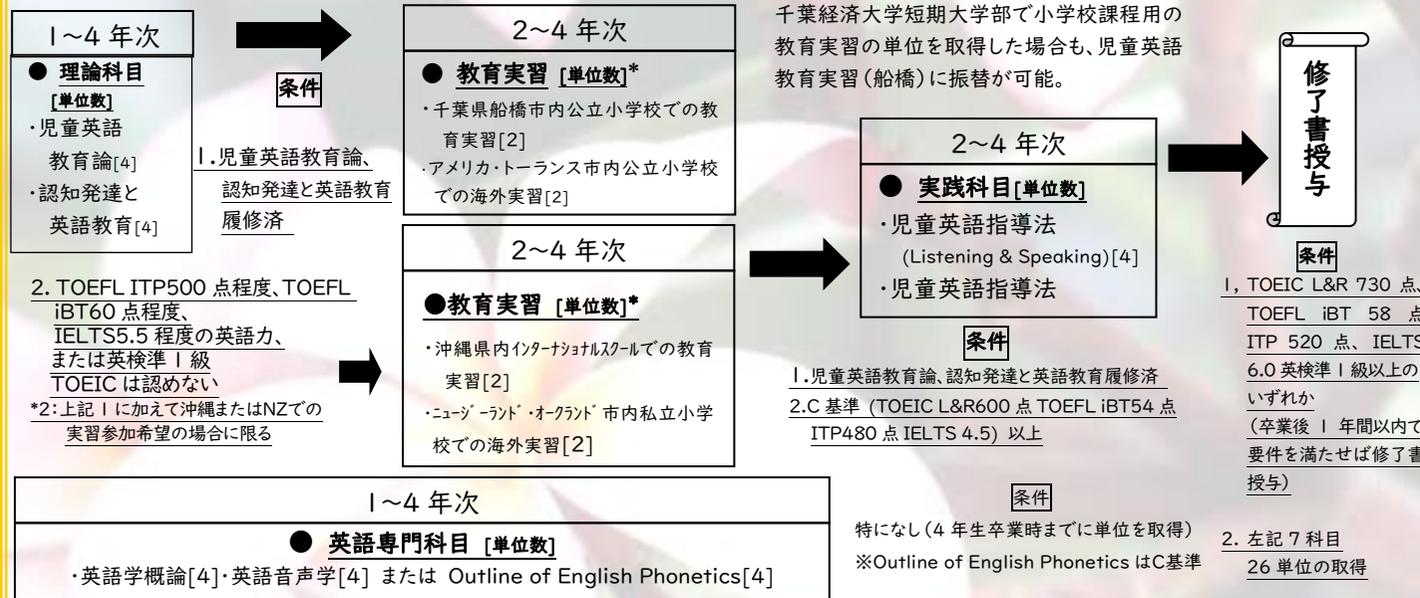


Instagram



神田外語大学

令和3年度以降入学外国語学部1年生用履修モデル



児童英語教員養成課程授業科目・講義概要一覧

授業科目・講義概要 [単位] ※ 教育実習については右記参照

- ① 児童英語教育論 A・B [4 単位] [教員]【前期・後期 担当】河合 裕美
[概要] この講義は将来的に早期英語学習者を対象とする英語教師になるために、必要な理論や教育現場での実践活動を概観し、模擬授業などの実技演習にも取り組む。特に我が国における早期英語教育の全体像と新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語科を理解し、自ら授業案を立案・指導できるようになるための入門基礎科目として関連内容を幅広く扱う。
- ② 認知発達と英語教育 A・B [4 単位] [教員]【前・後期 担当】田中 真紀子
[概要] 本講座は、ことばの習得において重要な役割を担う乳幼児期・児童期に、「子どもの認知と言語がどのように発達するか」を学ぶ。授業では、認知と言語の発達に関する種々の側面（概念の形成、語彙の発達、脳の機能と発達、文法の理解の発達、発達障害、心の理論など）を科学的な研究に基づいて学ぶ。さらに Piaget の発達理論や Vygotsky の社会文化理論などの諸理論より、学習がどのように成立するか学ぶ。本講座において学生は、これらの知識をどのように英語教育の指導方法や指導技術に応用できるかをともに考える。
- ③ 児童英語指導法 (Listening & Speaking) A・B [4 単位] [教員]【前・後期 担当】河合 裕美
[概要] 本科目では、早期英語学習者を対象とした教授法のうち、学習者の英語音声の聴解・産出能力が向上するように英語音声指導法を学び、履修者が将来の児童英語指導者や小学校教員として指導技能や指導能力を高めることを目的とする。小学校英語が 5、6 年生で教科となり、「聞く」「話す」「読む」「書く」の 4 技能を扱うようになった。3、4 年生では「外国語活動」として必修となり、「聞く」「話す」音声中心の活動を高学年の文字の「読み・書き」の指導へ円滑に接続するように求められている（文部省、2017）。英語と異なる言語体系を持ち、EFL 環境の我が国において子どもに英語を教えていくためには、英語音声と日本語音声の違い、幼児・児童の年齢や認知の違いを捉え、音声指導が読み書きのリテラシーを支える土台となることを十分理解した上で、体系的な指導法を習得する必要がある。授業は実践演習形式で進めるため、授業への積極的な関わりを期待する。
- ④ 児童英語指導法 (Reading & Writing) A・B [4 単位] [教員]【前・後期 担当】田中 真紀子
[概要] このクラスでは、学生は歌や体、絵本を使って、子どもに英語の読み書きを教える方法を実践的に学ぶ。まず、音素認識能力を高める活動、そしてアルファベットの文字と音を一致させるフォニックスの基礎とその指導の方法を学ぶ。絵本を活用した活動では、子どもの心の発達や認知能力を育成することを目的とした Interactive Read Aloud (対話的読み聞かせ)、基礎的な語や文の読み方の指導を目的とした Shared Reading (共有読み聞かせ) の指導ができるようにする。さらに、絵本の内容を理科や社会などの他教科と連携させたり、発展させたりしながら行う読み書きの指導方法を修得する。絵本を読み聞かせるにあたり、読み手は正確に英語を発音することが子どもの言語習得に重要である。従って、履修者には徹底的な発音訓練を行い、子どもへの発音指導及び読み書きの指導が行えるようにする。

教育実習システム

教育実習システムの充実化

本課程の児童英語教育実習システムは、小学校教諭 2 種免許状の取得や海外・沖縄・船橋実習を視野に入れながら、より充実したものと発展してきています。教育実習システムは、以下の 5 つに分かれます。

(1) 千葉県船橋市内の小学校での教育実習

千葉県船橋市教育委員会との教育連携により船橋市内の小学校で実習を行っています。教室には担任教員・ALT の補助として加わり、小学校英語教育の現場を体験します。

(2) アメリカ・トランスでの海外実習

ロサンゼルス郊外トランス市教育委員会との連携で、市内の小学校で行われている授業にアシスタントティーチャー（補助教員）として参加します。日米の教育システムの違いや、また他教科の指導方法なども学べます。さらに、本プログラムはホームステイを通して日米の文化の違いを体験する絶好の機会です。

(3) 沖縄県内の国際学園での教育実習

うるま市にあるインターナショナルスクールで、幼稚園から 9 年生までの一貫教育を実施しているアミックス国際学園で実習を行います。英語圏の教員と日本人のバイリンガル教員 2 名の補助として加わり、実際の教育現場を体験します。

(4) ニュージーランド・オークランドでの海外実習

オークランド郊外グレンドローウィー地区の政府認定国際学士学校として教育を行っている小中一貫校にて実習を行います。5 歳から 13 歳まで、英語を母語としない子どもたちや留学生なども多く在席する学校における英語教育を体験します。

(5) 千葉経済大学短期大学部を通しての教育実習

在学中に小学校教諭の免許を取得することを目的に科目等履修生として千葉経済大学短期大学部に参加した場合、免許取得のために教育実習が必要です。千葉経済大学短期大学部にて教育実習を修得した場合、本学児童英語教員養成課程の実習に単位を振り替えることができます。